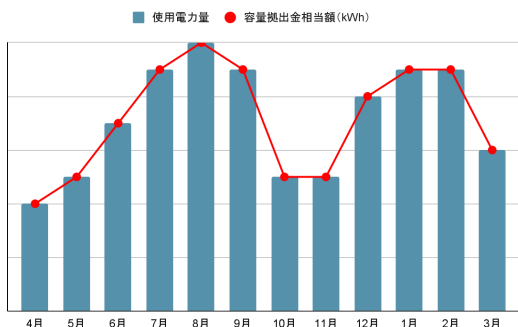
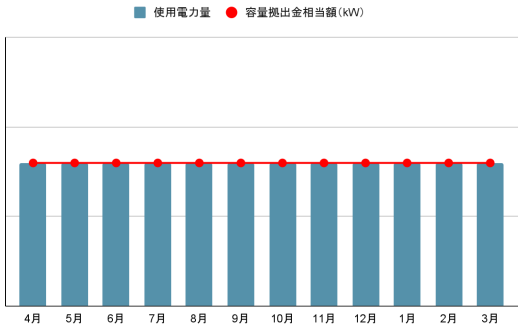


【別紙2】容量拠出金相当額の変更内容

当社は、2024年度より新たな制度としてスタートした容量市場による小売電気事業者の負担金増への対応として、お客様の使用電力量（kWh）に応じて容量拠出金相当額をご負担いただいております。

しかし、従来小売電気事業者に対して負担を強いられる容量拠出金は容量（kW）に対してであることから、2026年度よりお客様への容量拠出金相当額の算定に用いる値を使用電力量（kWh）から契約電力（kW）に変更をさせていただきます。

現在	2026年度4月1日より※1
<p>当月の使用電力量（kWh）× 容量拠出金相当額（円／kWh）</p>  <p>■ 使用電力量 ● 容量拠出金相当額(kWh)</p>	<p>当月の契約電力（kW・A・kVA）※2× 容量拠出金相当額（円／kW）</p>  <p>■ 使用電力量 ● 容量拠出金相当額(kW)</p>

※1...高圧および特別高圧のお客様は4月1日からの適用となり、低圧のお客様は4月1日以降の検針日からの適用となります。

※2...当社供給期間中にお客様の契約電力（kW・A・kVA）が変更となった場合は、容量拠出金相当額の算定に用いる当月の契約電力も変更後の契約電力となります。

本変更は容量市場の制度主旨に即し、当社が負担する原価をより実態に近い形でお客様に電気料金としてご負担いただくことを目的としており、お客様のご使用状況によっては電気料金が増減する場合がございます。